

## 概要編

<b>1. 応募団体名 担当者</b>	みゆき通り街づくり委員会 担当者：吉田誠男 連絡先：TEL 03-5651-1550 FAX 03-5645-3375
<b>2. 調査名</b>	日本橋イースト地域（問屋街を中心とした）のまちづくりのための調査
<b>3. 推薦団体名</b>	中央区都市整備部
<b>4. 調査対象地域</b>	
(1) 対象となる行政区 域名、地区名等	東京都中央区（東日本橋・日本橋横山町・日本橋馬喰町・掘留町周辺）
(2) 対象となる行政区 域及び地区の特徴	<p>中央区は東京 23 区のほぼ中央に位置し、江戸以来 400 年にわたって文化・商業・情報の中心として発展してきた、日本の中心とも言える区である。様々な交通（路）の結節点でもあるため、全国から様々な人が訪れ、浅草、秋葉原、神田、日本橋、銀座など、日本を代表とする都心エリアと、近年水辺環境の改善が著しい隅田川に囲まれた、恵まれた位置環境にある。</p> <p>また、江戸下町の代表の街として、江戸・東京発展の基となった生活、産業、文化が一体となった町人・商人の職住融合の街で、江戸や全国の庶民により継続し、発展してきた街であり、現在でも、「衣・食・住・金融」の日本最大の中心街の一つである。</p> <p>面積は約 10km<sup>2</sup>（都総面積の約 0.46%）で、23 区の中で最も小さい。人口は、102,833 人（平成 19 年度現在）。</p>
<b>5. 提案した活動の内容</b>	
(1) テーマ、課題	<p>テーマ：地元と大学との連携事業をベースとして、さらに多様な主体の参画のもと、日本橋イースト地域の総合的な街づくりに向けた活動を展開する</p> <p>課題：・日本橋地域としての位置づけの確立、活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会ごとに、それぞれ個々に行っている活動・町民の意識を統一し、一緒になってこの地域の街づくりを行っていく</li> <li>・この地域の旧住民と新住民が一緒に活動することによる、新たな街の方向性の展開</li> <li>・オープンカフェ等の実施による街の活性化、水辺空間活用の可能性等の検討 等</li> <li>・着物のイベント等による着物の良さの再認識と、問屋街の活性化の可能性の検討 等</li> </ul>

<p>(2) 本調査費による 活動内容の概要</p>	<p>1. オープンカフェ、アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施日 : 平成 18 年 10 月 27、28 日</li> <li>○実施場所 : 児童遊園プチ広場、薬研堀不動尊前</li> <li>○実施目的 : 隅田川沿いの水辺の有効活用の方策の検討と、近隣の薬研堀不動尊及び薬研堀商店街との相互効果、回遊性等の検証を行うため</li> <li>○実施内容 : 児童遊園プチ広場や薬研堀不動尊前にてアンケートを実施し、アンケートをしていただいた方にコーヒー券を渡し、児童遊園プチ広場にてコーヒー券と交換する形でコーヒーまたはジュースとクッキーを配布した。 アンケート総数 589 件</li> </ul> <p>2. 子供達と地元住民による街歩き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施日 : 平成 18 年 11 月 25 日</li> <li>○参加者 : 日本橋地区の小学生及び保護者 計約 60 人</li> <li>○実施ルート : <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート A 明治座→紀文堂→薬研堀周辺→日本橋中学校→隅田川沿いスーパー堤防)→初音森児童公園(休憩)→横山町商店街→東日本橋細街路→久松小学校(ゴール)</li> <li>・ルート B 明治座→紀文堂→馬喰町駅交差点共同溝(共同溝を見学)→初音森児童公園(休憩)→横山町商店街→東日本橋細街路→久松小学校(ゴール)</li> </ul> </li> <li>○実施目的 : この地域についての知識に乏しい、越境通学やマンションに移転してきた子供達と地元住民とが一緒にまちあるきをすることにより、地域の歴史や街の資源を知り、再発見してもらおうとともに、街の老朽建築物や細街路等を体感することにより、街の防災や安全について一緒に考えてもらう場とするため。</li> </ul> <p>3. きものイベント</p> <p>(1) 実は楽チン着付け教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施日 : 平成 19 年 3 月 17 日</li> <li>○実施場所 : 福德塾(三井 6 号館 1F)</li> <li>○実施目的 : 呉服問屋が多い日本橋地域を、着物の良さの再認識と普及を起爆剤に活性化を図ることを目的とした。</li> <li>○実施内容 : 着物の第一人者で帯人形作家でもある笹島寿美先生を講師にむかえ、着物を簡単に着る方法を教えていただいた。</li> </ul>
--------------------------------	---

(2) 着物で散策日本橋みゆき通り

○実施日：平成19年3月12日～20日

○実施場所：日本橋周辺

○実施目的：着物を着ても行くところがないという意見が多い中、着物を着て、日本橋老舗めぐりをしていただき、もっと日本橋を知り、身近に感じてもらうことを目的とした。

○実施内容：

Aコース…ホテルかずさや「ニレーヌ」(宿泊の神様) → にんべん(鯉節の神様)

Bコース…山本海苔店(海苔の神様) → 神茂(半ぺんの神様)

Cコース…伊場仙(江戸扇子・団扇の神様) → 小津和紙(和紙の神様)

の3コースを設定し、着物を着て老舗めぐりをしてもらった。

また、上記の期間に、着物にてマップに記載の店舗に寄っていただいた方には、粗品やドリンクサービス等の特典をつけ、日本橋の店舗をまわってもらうようにした。

(3) 丹後ちりめんの展示

○実施日：平成19年3月6日～11日

○実施場所：三井タワーアトリウム(三井記念美術館エントランス)

○実施目的：京都丹後地方にて、金銀糸、漆糸を使用し、通常の織物の数倍の手間と時間をかけて織り、一般に着られる着物の最も最上位に位置される黒留袖や色留袖に広く用いられる最高級の着物生地、丹後ちりめん縫取織物の魅力を知ってもらうことを目的とした。

○実施内容：通常では手に取り見ることができない実物の織物や、実際に使用された図案(匠絵)などの貴重な資料等の展示と縫取ちりめんを製造・販売する、京都丹後の老舗「柴田織物」(明治19年創業)代表の柴田祐史先生の講演を開催した。

(4) ワークショップ「型染めで半襟を染めよう」

○実施日：平成19年3月17日

○実施場所：ころもや

○実施目的：以外と簡単な型染めで半襟を染める体験をしてもらうことにより、着物を身近に感じてもらうことを目的とした。

○実施内容：ワークショップにて、実際に半襟に型染め体験をしてもらった。

		<p>4. まちの将来像 大学との連携の一環とし、学生によるまちの将来像の提案</p> <p>5. まちの方向性 上記の結果をもとにした、みゆき通りのまちづくりの方向性の提案</p>
<p><b>6. 本調査と関連する活動実績</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本橋みゆき通りまちづくり委員会による「朝顔植え」、「縁台将棋」</li> <li>・NPO 法人はな街道</li> <li>・日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会 等</li> </ul>
<p><b>7. 本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みゆき通りの東端の隅田川の水辺空間に関しては、住民及び来街者の方々のニーズがいかにか高いかが認識できたが、現段階では、その水辺空間の整備があまりなされていないことの問題も顕著化した。今後は、このような意見を行政側に進言していき、時間がかかっても、快適な水辺空間の整備を行っていくよう提言していくことが重要だと思われる。</li> <li>・街歩きのイベントを通じ、新住民と旧住民と一緒にこの地域や街の災害・安全面について考える場ができたことは評価に値すると思われる。しかしながら、それはまだまだ一部であり、今後、このような活動やその他の方法等により、更に住民間の意識の壁をなくしていく方策を検討してかなければならないと思われる。</li> <li>・商店街や街の活性化に関しては、イベントやアンケートを通じ、住民及び来街者の方々のニーズが多少なりとも掌握できたので、今後は、この結果をもとに、街や商店街の活性化に具体的にどのように活用していくかの検討が必要だと思われる。</li> <li>・着物イベントの実施も大成功に終わり、着物を着てみたいというニーズや、このようなイベントや着物をきていく場所があれば、今後も着てみたいという意見もかなりあることがわかった。最近、安い着物も徐々に普及しつつあり、今後は、このようなイベントを定期的に関催し、着物文化を定着させ、いかに問屋街活性化にうまく繋げていくことができるかが最大の課題だと思われる。</li> </ul>

本 編